

埼玉電工組支部活動

埼玉県電気工事工業組合（沼尻芳治理事長）は各支部で社会活動に参加し、工事業界の役割をアピールした。

川口支部

献血運動に協力

川口支部（藤田征夫支部長）はJR川口駅西口（偶数）も参加して、会場設けのりりア1階催しもの広場において、今年も日赤の献血運動に協力した。



JR川口駅西口で呼びかけをする藤田支部長（中央）と理事

の献血運動に協力した。午前9時から支部長をはじめ支部理事やその配属者も参加して、会場設けのりりア1階催しもの広場において、今年も日赤の献血運動に協力した。

JR川口駅西口に支部長と理事がのぼりをもって待機し、献血の呼びかけをした。

今年の献血の協力者は、昨年の161人より増加し172人の協力者を得ることができた。毎年、少しずつではあるが協力者も増加している。

防犯パトロール活動

り、藤田支部長はこの活動も今年で7年目、今後も、命を守るボランティアとして継続していきたい」と抱負を述べ解散した。

川口支部（藤田征夫支部長）は、埼玉県防犯のまちづくり推進条例が定める「減らそう犯罪の



参加した藤田支部長（左から2人目）と松本青木北小教頭（左から3人目）

日」の取り組みで川口市立青木北小学校の児童下校時の交通安全誘導と防犯の見守りの自主防犯パトロールを実施した。

藤田支部長と理事・役員10名は、例年通り同校指定の危険交差点5箇所を待機し、低学年・高学年の下校時間に合わせ「声掛け」運動を行うと共に、青色灯防犯パトロール車による巡回を約2時間実施した。

藤田支部長は、「年間1回の取り組みではあるが、地域貢献として児童の安全を願い今後も見守



児童を見守る藤田支部長

川口市総合防災訓練に参加

象とした震災対策訓練を12会場で実施され、川口支部はメイン会場の青木北小学校でライフライン復旧訓練を実施した。当日は午前11時から、

川口支部（藤田征夫支部長）は、平成28年度川口市総合防災訓練に、東京電力パワーグリッド（株）を先頭に、川口支部、川口支社と川口電気設備協同組合と合同で参加した。

今回は昨年11月6日に青木地区及び上青木地区、前川地区の住民を対象に、避難場所に見立てたテントに急急に照明作業訓練を実施した。



防災訓練参加者と藤田支部長（後列右から5人目）

訓練終了後、藤田支部長が「最近頻発している地震・洪水・山崩れ等を身近なこととして捉え、災害に際して対応できる態勢の確立と防災意識の普及に、今後も真剣に取り組んでいきたい」と抱負を述べ解散した。

久喜支部

幸手市防災訓練に参加

久喜支部（弓木訓支部



組合員と東京電力パワーグリッド

長）は八代小学校で実施された、幸手市防災訓練に参加した。この訓練は「自主防災」をテーマに、災害に対する住民意識の高揚や「地域防災



弓木支部長の説明を聞く児童たち

力」の向上を図ることを目的として、毎年開催されている。当日はあいにくの天気となってしまうが、煙体験ハウスや地震体験車などを設置して、予定通り訓練が行われた。

弓木支部長をはじめ幸手地区の組合員は、東京電力パワーグリッド(株)春日部支社の隣に感震ブレイカー付分電盤や火災報知器を展示。訪れた地域住民に、電気による火災発生の仕組みについて説明し、感震ブレイカー付分電盤の必要性について訴えた。これらの展示に

参加 菖蒲産業祭に

久喜支部（弓木訓支部長）は昨年11月3日に久喜市菖蒲町のあやめ公園にて開催された菖蒲産業祭に参加した。このイベントは毎年文化の日に行われており、今年で33回目を迎えた。

展示ブースでは、感震ブレイカー搭載分電盤や火災報知機を設置し、展示実演を行う傍ら、子どもを対象に延長コード作りの体験コーナーを設けた。参加した子供たちは慣れないドライバークをしながらも熱心に作成し、完成した延長コード



参加した組合員

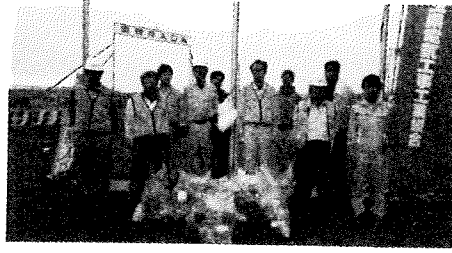


延長コード作りの様子

を実際にコンセントへ挿して、電球の明かりが点くと嬉しそうにしていた。その他、電気の関心度についてアンケートを行い、沢山の回答を得ることができた。風が強く吹く中、多くの来場者が久喜支部のブースを訪れ、盛況のうちに無事産業祭を終了した。

行田支部

ここのす花火大会 ごみ収集作業



小雨模様の中、ごみ収集を終えた組合員

行田支部（羽鳥隆行支部長）の鴻巣地区組合員

は、地域貢献活動として昨秋に実施された「第15回ここのす花火大会」翌朝の、ごみ収集作業に参加した。

今年の花火大会は、残念なことにメインの4尺玉が500枚上空まで届かず、失敗に終わったが、これを除き、例年どおり華やかな花火大会となった。

また大会翌日、鴻巣地区組合員11名が早朝6時50分に、会場となった糠田グラウンドに集合し、商工会青年部のスタッフの指導のもと、鴻巣中学校、鴻巣中学校の生徒の

他、多数のボランティアと共に会場清掃を行った。

小雨模様で足場が悪い中、土手を中心に一つ一つ丁寧にごみの回収を行い、約2時間で沢山のゴミを収集し作業を終了した。

行田市防犯の まちづくり・ 暴力追放市民 大会に参加

行田支部（羽鳥隆行支部長）の行田地区組合員は昨秋に行田市教育文化センター「みらい」で開催された「行田市防犯のまちづくり・暴力追放市民大会」に参加した。この大会は、行田市防

犯協会が主催で、行田団体や機関等に、日頃の地域安全活動への感謝として、10月11日～20日に行われる全国地域安全運動に合わせて、毎年開催されている。

開会あいさつで防犯協会会長でもある工藤正司市長から、参集した関係



参加した組合員

課長による「振り込め詐欺及び暴力団の現状」と題して暴力排除講話、県警察防犯指導班「ひまわり」による「特殊詐欺や侵入窃盗を防ぐ」の寸劇が行われた。

最後に、「地域が一丸となって、力強い防犯の輪を広げ、犯罪の無い社会を築いていきましょう」と、大会宣言を参加者全員で確認した。

所沢支部

秋季ごみゼロ運動の実施

所沢支部（西澤長次支部長）は昨春秋、秋季ごみゼロ運動を、所沢航空記念公園にて実施した。



作業の様子

県営公園としては最大規模で、この時期はケヤキ、クヌギ、プラタナスなどの落葉が毎年大量に発生する。

当日は、支部役員を中心に16人が参加し、前日の雨による濡れ落ち葉に手ごすりながら、管理事



清掃後集合写真

務所から提供された、ほうき、熊手、ビニール袋等の七つ道具を駆使し、汗を流した。約1時間半の作業で、70L袋で20袋以上の落葉を集めて、公園管理事務所職員に引き渡し作業は終了した。

終了後、公園管理事務所（猪俣利和所長）から西澤支部長に対し謝辞があり、今後とも春・秋継続していくことを約束、



参加者一同

防犯パトロール活動

所沢支部（西澤長次支部長）は昨春秋、支部理事と事務局職員計9名で防犯パトロールを実施した。



パトロールの様子

「埼玉電工組所沢支部」のベストを着用し出発。「詐欺手口&撃退法」のチラシを航空公園駅前配布し、その後、支部事務所近隣の住宅街をパトロールした。また、同時に外灯の点灯状況、不審者、不審物の有無等の確認も行ったが、特に異常はなかった。

当日は支部事務所に集まり、パトロールの区域と実施要領を確認した後、高齢者に防犯と「不審電話に注意」の声掛けをする、「本当に気を付けないといけませんね、ご苦労様」との労いの言葉を返された。

西澤支部長は、「今回の活動で、1件でも詐欺被害防止に繋がることを願います。これからも安全・安心なまちづくりへのお役に立ちたい」と意気込みを語った。